



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成  
～～～ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ～～～

☆ 11月の目標

☆安全の「あ」  
健康な自分・・・  
※体力づくりをしよう  
※手洗い、うがいをしよう

☆配布物のお知らせ  
1 学校便り 35号

☆今後の主な予定  
・11月26日  
サンクスギビング休業日  
・12月17日  
2学期終業日  
・1月 7日

☆もらった人がうれしい気持ちになる手紙 二年二組

「おおむたのおぼあちゃん」へ  
元気にしていますか？

ほくは、元気ががんばってるよ。おもちゃやおかしをおくってくれてありがたう。

日本に帰ったら、すぐに会いに行くからね。元気にまってるね。あすか より

☆もらった人がうれしい気持ちになる手紙 二年二組

「かいとくん」へ

かいとくんはドナーだったね。日本人学校でいっしょにあそべてたのしかったよ。かいとくんのおもいでいっぱいあったね。日本に帰るけど、日本でがんばってね。

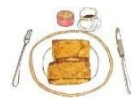
ほくが日本に帰ったらいっしょにあそぼうね。日本に帰ってほくのこともわすれないでね。あと日本に帰っても元気だね。あと日

かげ山れお より

☆もらった人がうれしい気持ちになる手紙 二年二組

「おとうさん」へ

いつも、わたしにやさしくしてくれてありがたう。いつもわたしは、おとうさんのつくるごはんがとてほしいです。いつの日曜日に、目玉焼きやフレンチトーストをつくってくれたり、わたしがおなかすかかないといっしょにまよってくれたりして、とてもやさしいおとうさんだと思えます。また、日曜日、いっしょにあそぼうね。なお より



☆しらせたいな、見せたいな 一年一組 めるゆ もな

わたしは、ねこのルークを飼っています。ルークは、けががふわふわです。ルークは、しっぽがくろいんです。ルークは、あしがくつ下みたに見えます。ルークは、やさしいです。ルークは、爪が長いです。あしはちやいろです。ルークは、おじいさんです。でも、あしがはやいです。つめで私の手をかきます。すぐいいたいです。ルークは、たまにわたしのところにきます。わたしは、ないたときもきます。わたしは、ルークがすぐくすぐくすぐしています。

☆しらせたいな、見せたいな 一年一組 田川 しおん

ほくのいえには犬がいます。なまえは、フロネーです。フロネーのからだは、くろです。おなかとあしは、しろです。フロネーは、男の子で三さいです。からだは五十センチくらいです。みみは、たれさがっています。せなかかかふわふわです。フロネーは、ほくがけがをするときにくるんです。ほくは、フロネーが大すきです。

☆しらせたいな、見せたいな 一年一組 山下 かお

わたしは、イエロストーンでバイソンを見ました。さくのそとにいました。さわったらきもちよかったです。すぐ大きかったです。それに、あしがふとかったです。ちかくで見るとバイソンは、やさしいめをしていました。バイソンの子どももいました。子どもは、うまみたいてした。バイソンを見て、たのしかったです。



☆知らせたいことを書いて 四年一組 かとう ひまり

わたしが、みんなに知らせたいことは木星です。なぜ木星をきめたかは、一番大きいわく星だからです。わたしがみんなが一番つたえたいことは、重さくらべです。木星が一人で地球が三百八十こで同じ重さです。さいしよわたしも本を読んびつくりしました。木星は、まん丸よりも、少しよこにふくらんでいます。大赤はんは、時そく百キロメートルのスピードで左回りにうずまいています。木星には十六こもの月があります。そのうち、とびぬけて大きい四こは、およそ四百年前に天文学者のガリレオがはつ見したので、ガリレオえい星とよばれています。また、木星は、一本の細い輪にとりかこまれています。この輪は、ちりやごみなどの小さなつぶのあつまりです。木星の四つの大きい月の名前の一つ目は、イオ。けむりを上げる火山が十個もあります。二こ目は、エウロパ。ひびわれもようがある月です。三つ目は、ガニメデ。水星より大きく、表面は氷です。四つ目は、カリスト。黒っぽいけど、こおった月です。夜空では、月、金星について、明るく、簡単に見つけ出すことができます。わたしは、木星が一番きれいで大きいと思っています。



★知らせたいことを書こう

四年一組 河村 花伶

わたしは、クルトカというシャープペンシルを持っていません。このシャープペンシルは書いても書いてもしんの先がとがったままのシャープペンシルです。しんの先を紙におしつけるとギザギザがついている歯車がいっしょに回ります。それでしんの先がとがります。歯車のギザギザの数は、全部で百二十個です。くるくる回ってとがるのでクルトカという名前になりました。

このシャープペンシルを作った理由は、どんなに書いても線が太くならない、今までにないシャープペンシルを作ろうと思って作ったそうです。作る時に苦ろうしたのは、しんがなかなかスムーズに回らなかったため、五千本以上も作ってやっと完成したそうです。わたしは、このことを知ってびっくりしました。このシャープペンシルを作るのにいろいろ苦ろうしてやっとできたので、すごいシャープペンシルだと思いました。このシャープペンシルをもっていてうれしいです。



知らせたいことを書こう

四年一組 入手 七海

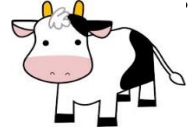
わたしが知らせたいことは、色のことです。わたしの家には、サンキャッチャーというキラキラしたガラスが、まどぎわにぶらさがっています。そのサンキャッチャーに太陽があたると虹色の光が家中にひろがります。すこくきれいです。でもなぜ、光が当たると虹色の光が出るのかふしぎに思いました。そこで、虹がどうやってできるのかを調べました。太陽の光には、たくさん色があります。その光がサンキャッチャーの中でくっつけられ、それぞれの色ができあがります。わたしが思ったことは、光の中に、いっばい色が入るとは思いませんでした。



★知らせたいな、見せたいな

一年三組 よしだ めぐみ

おすうしです。白とくろで、はなとくちがピンクです。なまえは、おーむです。とくべつなともだちです。



★知らせたいな、見せたいな

一年三組 しん ありさ

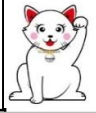
おうちに おにんぎょうのいえが、なかにあそびます。つくえやオーブン、ワゴンをおいでにんぎょうであそびます。



★知らせたいな、見せたいな

一年三組 いわせ こうが

ほくのねこ 大すきです。青い目があります。さわると、きもちいいです。くろいくつをはいています。てをおしたら、おどります。かってあります。



★知らせたいな、見せたいな

一年三組 まえむら まさと

ほくの大さかのいえに、トイフールドルがいます。いろはいろいろです。めのいろはくろです。はなのあたりには、きずがついています。ほくは犬のトイフールドルがすきです。どうしてかというかわいからです。



6年1組

「イーハトーヴの夢」を読み、賢治が理想とした世界について考えよう

6年1組 秋本 登太

宮沢賢治が理想とした世界は、人間が人間らしい生き方ができる社会。それだけでなく、人間も動物も植物も、たがいに心が通い合うような世界。おそらく賢治は、人間だけでなく、動物や植物にもそれなりの感情があって、痛みや悲しみ、そういうものがあると考えたのだと思います。理由は、賢治の作品は多くの擬人法が用いられているからです。例えば「やまなし」でかきがしゃべったり、「ゼロ弾きのゴーシュ」で色々な動物がゴーシュと話したりします。それと同時に、感情も書かれています。おそらく賢治は、読者が動物たちの気持ちにふれることができたら、動物たちのことを安易に考えなくなる、と思ったのだと思います。ぼくは賢治に、なぜ呼吸ができないほど苦しんでいたのに、見知らぬ客に肥料のことを1時間以上もていねいに教えてあげたのかを聞きたいです。おそらく賢治は、「自分に教えることのできることでそれは人助けになるのなら、自分の命もおしくない。」と答えると思います。

6年1組 池田 真彬

宮沢賢治が理想とした世界は、苦しい農作業の中に、楽しさを見つける。工夫することに、喜びを見つける。そうして未来に希望を持つ世界だと思います。ぼくはこの理想について、賢治の農業についての思いがすごいと思いました。賢治は物語も作っていたけれど、農業に対して、「農作物の被害を少なくし、人々が安心して田畑を耕せるようにできないか。」「そのために一生をささげたい。それにはまず最新の農業技術を学ぶことだ。」と書いてあるので、農業への思いは熱いと思いました。賢治が農業学校で成績が優秀ということは、そのために一生をささげたいと言った賢治の言葉からこの成績が出たのではないかと、ぼくは思いました。ぼくが賢治に聞いてみたいことは、物語を作るのか農業をやるのか、どちらが賢治にとって楽しかったかということです。ぼくが予想する賢治の答えは、農業の方が楽しいという答えだと思います。なぜなら、物語を作ってもぜんぜん売れなかったし、しかもひどい批評の言葉が返ってきたので、賢治は傷ついたと思うから、農業の方が楽しかったらと思うました。

6年1組 山内 絢加

宮沢賢治が理想とした世界は、人間が人間らしい生き方ができる社会、それと人間も動物も植物もたがいに心が通じ合うような世界だ。人間は動物にはできないこともできるし、動物しかできないこともある。それに植物はかれたりからまったりと人間にはできないことをしているが、そんな中で、今は賢治の理想の世界とはまったくちがう人間だけが自由にならなくなってきていて、動物と心が通じ合うような世界にはなっていないと思った。この世界は人間の思う通りに進み、自分の考えで行動する。そんな世界になってきていて、賢治の理想の世界とまったくちがう。今この世界は、けいたい、機械、ロボットなどどんどん便利になってきているが、こういうことは動物、植物のためにならない。動物・植物とは通じていないことになる。私は、「人間らしい生き方ができる社会」というところで、思いやりを持った世界ということも賢治は考えたと思う。私は賢治に、理想とした世界と今の世界のちがいを聞いてみたい。賢治は、理想の世界とはちがうけど、どうすることもできないからしょうがない、などと言うかもしれないし、今の世界は人間が動物の気持ちを考えたら未来は少しずつ変わるんじゃないかな、などと言うと思う。

